

FL+nal-IRI 療法

FN 低:催吐性 中
診断名:膵がん

○投与スケジュール (1 コース 14 日)

Day1 (点滴):オニバイド div 70mg/m²
Day1 (点滴)レボホリナート(I-LV) div 200 mg/m²
Day1~2 (持続静注):フルオロウラシル continuous civ 2400 mg/m² (全体量)

Day2~Day3 (内服):テカロン 4mg 分 1 朝内服

○注意事項

※下痢、腹痛時は前投薬にブスコパン注 20 mg 0.5~1A 混注考慮(心疾患、緑内障、前立腺肥大等の合併症既往注意)

・本剤を単独投与した場合の有効性及び安全性は確立していない。
・UGT1A1*6 もしくは UGT1A1*28 のホモ接合体を有する患者、又は UGT1A1*6 及び UGT1A1*28 のヘテロ接合体を有する患者では、イリノテカンとして 1 回 50mg/m² を開始用量とする。

なお、忍容性が認められる場合には、イリノテカンとして 1 回 70mg/m² に増量することができる。

・本剤投与により副作用が出現した場合には、下記基準を参考に本剤及びフルオロウラシルの減量等を考慮する。

種類	程度	減量方法
好中球減少	G3 以上または 発熱性好中球減少症	オニバイド及び 5-FU を 1 段階減量する
白血球減少	G3 以上	(同上)
血小板減少	G3 以上	(同上)
下痢	G3 以上	(同上)
悪心/嘔吐	G3 以上	オニバイドを 1 段階減量する
その他	G3 以上	オニバイド及び 5-FU を 1 段階減量する

【減量時の投与量】

	オニバイド	フルオロウラシル
開始用量	70mg/m ²	2400mg/m ²
1 段階減量	50mg/m ²	1800mg/m ²
2 段階減量	43mg/m ²	1350mg/m ²
3 段階減量	中止	中止